

# 福祉サービス第三者評価 評価結果報告書

有限会社HARMONIE  
マシュマロ保育園

平成30年 11月19日

株式会社フィールズ

かながわ福祉サービス第三者評価推進機構 認証第6号

# 目次

## 〔福祉サービス第三者評価結果報告様式〕

■ 対象事業所、評価方法等 .....	1
■ 総合評価 .....	2
■ 全体の評価講評 .....	2
＜サービス実施に関する項目＞	
■ 共通評価領域1 サービスマネジメントシステムの確立 .....	4
■ 共通評価領域2 人権の尊重 .....	7
■ 共通評価領域3 意向の尊重と自律生活への支援に向けたサービス提供 .....	9
■ 共通評価領域4 サービスの適切な実施 .....	11
＜組織マネジメントに関する項目＞	
■ 共通評価領域5 運営上の透明性の確保と継続性 .....	14
■ 共通評価領域6 地域との交流・連携 .....	17
■ 共通評価領域7 職員の資質の向上の促進 .....	19
＜利用者調査結果＞	
■ 認可保育所 利用者調査項目（アンケート） .....	21

〔福祉サービス第三者評価結果報告様式〕  
 (認可保育所版)

対象事業所名（定員）	マシュマロ保育園（定員19人）
経営主体（法人等）	有限会社 HARMONIE
対象サービス	児童分野（地域型保育事業）
事業所住所	〒251-0025 神奈川県藤沢市鵜沼石上2-8-5
事業所連絡先	0466-55-5560
評価実施期間	平成30年6月～平成31年2月
評価機関名	株式会社フィールズ

評価実施シート （管理者層合議用）	評価実施期間 平成30年6月15日～平成30年9月12日
	（評価方法） ・管理者の合議により、決められた評価票により自己評価を実施した。
評価実施シート （職員用）	評価実施期間 平成30年6月15日～平成30年7月31日
	（評価方法） ・職員へ説明を行い各自が評価票で自己評価を実施した。 ・記入後は職員から直接評価機関へ郵送してもらった。
利用者調査	配付日）平成30年6月15日 回収日）平成30年7月31日
	（実施方法） ・園より利用者家族全世帯へアンケート用紙を配布した。 ・記入後は返信用封筒にて直接評価機関へ郵送してもらった。
評価調査者による 訪問調査	評価実施期間（実施日）／平成30年10月12日
	（調査方法） ・評価調査員2名が訪問して、施設の見学および利用者保育観察を行った。 ・同様に資料調査および関係者へのヒアリングにより事業者調査を行った。

## [総合評価]

### <施設の概要・特徴>

マシュマロ保育園は、小規模認可保育園として2016年4月に開設した保育園です。運営は、藤沢市内で保育園の運営、子育てカフェの運営などを手掛ける有限会社HARMONIEです。

園は、藤沢駅からは徒歩10分、江ノ電石上駅からは徒歩4分程の場所にあり、近くに神奈川県藤沢合同庁舎や秩父宮記念体育館があります。園舎は2階建ての戸建住宅のような外観で、内部は温かみを感じられ、機能性も考慮したスペースとなっています。1階は0歳～2歳児定員19名の保育室で、オープンフロアとなっており、全体が見渡せる環境で日々の保育が行われています。2階は調理室と様々な用途で使用できる多目的スペースが確保されています。

保育目標には、「優しく、思いやりのある、伸び伸びとした子」を掲げています。これを支える職員には徹底したキャリアアップを目指し、外部研修にも積極的に参加させ、園レベルアップを前向きに進めています。法人としては、藤沢商工会議所に入会して、地元の企業との連携を積極的に進めています。

## [全体の評価講評]

### <特によいと思う点>

#### 1. 小規模園の特徴を生かし、子ども一人ひとりに充実した保育が行われています

日々の保育では、保育理念・保育方針を基に、年間指導計画、月間個別指導計画、週日案を作成しています。保育日誌・受け入れ票なども個別に記録され、全職員共有で全園児の現況を詳細に把握しています。

在園児は0歳児から2歳児という身体の発達や感情が目覚ましく発達する時期にあり、一人ひとりの生活リズムや体調を把握しながら、その子に合った環境を整えた保育を徹底しています。

3歳児の転園に伴い、藤沢市東南地区の24保育園と連携施設の協定を締結しており、スムーズな移行が行えるよう支援体制を整えています。

#### 2. 職員のレベルアップを目標に、研修参加を支援しています

職員には半年ごとに自己評価書の提出を求め、管理者が面談を行い職員の人事考課を行います。職員のキャリアアップを目標にして、職員からの受講希望も含めて、各職員の経験年数や過去の個人別受講状況を勘案して、年間の研修計画を策定しています。

研修には、常勤・非常勤に関わらず参加できること、研修費用及び研修日時工数を就労として支払い、代休も取得できるようにしています。仕事のオン・オフを徹底させることで、メリハリを持って仕事に取り組めるため、ゆとりある保育活動にもつながっています。

#### 3. 運営法人は地元企業との交流に積極的に参加しています

地域との交流は、園が有する専門知識を活かした、子育て相談のPRを地道に粘り強く進めています。運営法人として、地元藤沢を大切に活動を目指して、藤沢市商工会議所に加入しており「地産地消の実践」を目指しています。園児の食事には地元産の野菜等を使用するにしたり、地域の祭りの実行委員会として参加するなど、地域とのつながりを大切にしながら運営を行っています。

## ＜さらなる改善が望まれる点＞

### 1. 園の実態に合わせた各種マニュアル等の見直し

各種マニュアルは、法人が中心に作成し見直しを行っています。園内は全体を見渡せる保育室のため、全職員で気づいたことはその場で話し合い共有できる環境にあります。

蓄積する日々のノウハウ等は話し合いによる共有に止めず、より園に適した内容のマニュアル類として充実させることが期待されます。小規模園としての特色を生かし活用するためにも、マニュアル類の整備見直しを行うことで、よい良いサービスの実施につなげることが期待されます。

### 2. データを活用した安全管理の充実

防災訓練は様々な災害を想定して、毎月実施し災害時の体制を確認しています。年度上期で、ヒヤリハット、ケガや事故などのリスクは正確に把握しています。

把握した事故などのデータについては、時間や場所、対象年齢などの分析を行い、今後の保育活動に生かすことが期待されます。さらに災害に備えての備蓄についても、子どもたちの年齢などにも配慮した見直しが望まれます。

### 3. 利用者のプライバシー保護の徹底

入園時に個人情報の取り扱いについて保護者に園の方針を説明し了解を得ていますが、保護者からの個人情報承諾の同意を記録に残すまでには至っていません。

自園のホームページ掲載も予定されており、園生活の写真掲載なども考えられます。個人情報の取り扱い、プライバシー保護については保護者への説明と共に同意取付についての検討が望まれます。

## <サービス実施に関する項目>

共通評価領域 1 サービスマネジメントシステムの確立
<p>小規模保育園としての特徴を生かしてきめ細かなサービスが確立しています。日々の保育は、保育理念・保育方針を基本として、年度ごとに「園の教育及び内容に関する全体的な計画」を基本にして、年間指導計画、月間個別指導計画、週日案を作成して、子ども一人ひとりを対象に目を向けた指導計画を実施しています。</p> <p>3歳児は転園することになる為、藤沢市東南地区の24保育園と連携施設の協定を締結しています。園児一人ひとり「転園連絡票」を作成し、入園先に提出、転園先と連携しています。</p>
<p>保育室がほぼ全体を見渡せる環境にあり、全職員で気づいたことはその場で話し合い共有しており、指導計画の見直しにも生かしています。</p> <p>各種マニュアルの作成や見直しは、母体である法人が中心で行っています。小規模園としての特色を生かしたアレンジを行い、よりよいサービスの実施につなげることが期待されます。</p>
<p>防災訓練は毎月行って、災害時の体制を確認しています。災害に備えての備蓄の内容については、子どもたちの年齢にも配慮し、見直しが望まれます。</p> <p>ヒヤリハット報告書、ケガ報告書さらに事故報告書に記載して、リスクを正確に把握しています。把握された事故については、把握されたデータをもう一歩分析し、今後の保育活動をより前進させることが期待されます。</p>

評価分類 (1) サービスの開始・終了時の対応が適切に行われている。	A
<p>①パンフレットは、見学を希望する保護者に向けて配布することを前提に、ポイントを絞り、写真とイラストを添えて作成しています。保護者の問い合わせ、園見学の希望には、説明者が可能な限りお受けしています。年末までに、法人の新ホームページが稼働する予定となっています。</p> <p>②入園前には、入園ガイドと重要事項説明書を中心にして、保護者と面談をして、サービス内容等を説明しています。冷凍母乳やアレルギー対応を希望する保護者には個別の書面を用意し、細かく説明、同意を得ています。</p> <p>③入園時には、園での生活を連絡帳の他に、できるだけ口頭で細かく説明しています。保護者には、帰宅後の様子を確認し、子どもの好きな遊びを教えてもらうなど、園で楽しく過ごせるよう工夫しています。慣らし保育期間は、園児一人ひとりの状況に合わせて対応しています。</p> <p>④園は、小規模認可保育園で3歳児には転園することになります。藤沢市東南地区の24保育園と連携施設の協定を締結しています。昨年4月には6名、本年4月には8名全員が転園、園児一人ひとり「転園連絡票」を作成し、入園先に提出、転園先と連携しています。</p>	
評価項目	実施の可否
① 保護者等（利用希望者を含む）に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	○
② サービスの開始にあたり保護者等に説明し同意を得ている。	○
③ サービス利用開始後に、子どもの不安やストレスが軽減されるような支援を行っている。	○
④ 就学がスムーズに行われるよう、保育の方法や保護者とのかかわりに配慮されている。	○

評価分類 (2) 手順を定め、その手順に従ったアセスメントを行い、サービス実施計画を策定している。		A
<p>① 入園時の保護者との面接では、子どもの生育歴、アレルギーの有無や予防接種状況、家族状況を確認しています。その上で、園生活が楽しい生活の場になるよう、入園ガイドを中心に、保護者と連携しています。個別に月間指導計画や週案を作成し、職員会議の場で保育士間で打ち合わせを行い、共有して実施しています。記録は、毎月、児童票ファイル（児童票、保育経過記録、発達の記録、身体発育、健康診断記録等）にデータを纏める手配が行われ、指導に生かしています。</p> <p>② 担当が作成した指導計画をリーダー保育士と園長で確認、職員会議で全員が共有しています。個別に働きかけが必要な園児については、会議の中で対応策を検討することを通じて、全員に徹底しています。</p> <p>③ 月間個別指導計画では、実施後、保育日誌の反省欄などを通じて、園児の発達に合わせて工夫したいと判断した場合は、担当が見直しを行い職員会議に提案し、討議し徹底を図っています。</p>		
評価項目		実施の可否
①	手順を定め、その手順に従ってアセスメントを行っている。	○
②	指導計画を適正に策定している。	○
③	状況に応じてサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	○

評価分類 (3) サービス実施の記録が適切に行われている。		A
<p>① 週日案に沿って保育を行い、日々の保育日誌を担当保育士が記載、報告を行っています。保育日誌に週案に示された「今週のねらい」に対して、どうだったか、反省を加えて記録するよう常に指導しています。</p> <p>② 個人情報に記載しているファイルは、保育室に隣接する事務室にある鍵のかかるキャビネットに保管しています。入所時研修では、個人情報保護と情報開示の観点からの取り扱いについて研修を実施しています。職員会議の場を通じて、守秘義務と個人情報保護についても繰り返し徹底しています。職員は、守秘義務に関して誓約書を取り交わしています。</p> <p>③ 子どもに関する情報は、毎朝のミーティング、職員会議等で打ち合わせを行い、職員間で共有しています。保護者からの情報を受け入れ票に記録し、毎朝のミーティングで職員全員に確実に伝える環境をつくっています。</p>		
評価項目		実施の可否
①	子どもに関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	○
②	子どもに関する記録の管理体制が確立している。	○
③	子どもの状況等に関する情報を職員間で共有している。	○

評価分類 (4) 提供するサービスの標準的な実施方法が確立している。		A
<p>①日々の保育は、保育理念・保育方針を基本としています。年度ごとに「園の教育及び内容に関する全体的な計画」を基本にして、年間指導計画、月間個別指導計画、週日案を作成し、子ども一人ひとりを対象に目を向けた指導計画を実施しています。小規模保育園としての特徴を生かしてきめ細かなサービスが確立しています。提供するサービスの実施方法についても各種のマニュアルを閲覧できるようにしています。リーダー保育士を中心にした実践指導により成果に結びつけて、保護者からも評価を得ています。</p> <p>②保育室全体を見渡せ、職員が気づいたことはその場で話し合い共有し、指導計画の見直しにも生かしています。各種マニュアルの作成・見直しは、母体である法人が中心で作成しています。小規模園としての特色を生かした修正を行うことで、さらによりサービスの実施につながることを期待されます。</p>		
評価項目		実施の可否
①	提供するサービスについて、標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	○
②	標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	○

評価分類 (5) 利用者の安全を確保するための取組が行われている。		A
<p>①緊急時における子どもの安全確保のための対策として、事故防止マニュアル、感染症対策マニュアルを用意して、全員に周知しています。事故防止・安全衛生担当者と避難訓練担当者は年度始に、月ごとの責任者を年間で作成して職員全員が緊急時に責任者として対応することができるように工夫しています。園の所在地は、海岸に近く浸水が発生する可能性もあり、緊急避難先については、園に近い市民会館に、緊急避難場所として受け入れをお願いしています。</p> <p>②防災訓練は毎月行って、災害時の体制を確認しています。訓練を通じてマニュアルの見直しも行っています。災害に備えての備蓄は、リストも作成した上、2階の倉庫に保管し、リストも掲示しています。備蓄の食料等については、子どもたちの年齢にも配慮し、見直しが望まれます。</p> <p>③年度上期で、ヒヤリハット報告書・ケガ報告書が合わせて22件、事故報告書が5件記載されて、リスクは正確に把握されています。把握された事故については、十分把握されて報告されています。把握されたデータをさらに分析し、今後の保育活動をより前進させることが期待されます。</p>		
評価項目		実施の可否
①	緊急時（事故、感染症の発生時など）における子どもの安全確保のための体制が整備されている。	○
②	災害時に対する子どもの安全確保のための取組を行っている。	○
③	子どもの安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	○



## <サービス実施に関する項目>

<b>共通評価領域</b> <b>2 人権の尊重</b>
<p>「保育所保育指針」を基にして、「年間の教育及び保育に関する全体的な計画」に子どもの最善の利益を第一義にした保育理念、保育方針、保育目標を明記しています。職員は、常に子どもの人権の尊重を意識し、一人一人の発達や気持ちに合わせた言葉かけや対応に心がけています。</p> <p>日常の保育活動にあたっては、子どもを急かしたり、強制したりせずに子どもの思いを大切に無理なく進めています。</p>
<p>一人一人の「今」を把握し、子どもが安定した環境の中で興味や関心を深め、成長していける保育に努めています。</p> <p>子どもの全身の状態や家庭の状況を毎日の「受入れ票」や「業務日報」に記載し、全ての職員に子どもたちの情報が周知され、きめ細かい援助を行っています。園は保護者と子どもの成長を共に喜び合える援助に努めています。</p>
<p>入園時に個人情報の取り扱いについて園の方針を保護者に説明していますが、保護者から個人情報承諾の同意を記録していません。園は、年度末にホームページの掲載を予定しています。ホームページに子どもの写真掲載などについて、保護者の同意書の確認が望まれます。また、運動会などで保護者が撮る写真をSNSにアップする際にも他児が映らないように保護者への徹底と理解が求められます。</p>

<b>評価分類</b> <b>(1) サービスの実施にあたり、利用者の権利を守り、個人の意思を尊重して</b>	<b>A</b>
<p>①職員は、常に子どもの人権の尊重を意識し、一人ひとりの発達や気持ちに合わせた言葉かけや対応に心がけています。日々の保育の中で子どもを急かしたり、強制したりせずに子どもが自分の意思で決定できる選択肢を用意し、子ども主体の保育活動を基本としています。</p> <p>②毎月、園だより、クラスだより、マシュマロキッチンなどを保護者に配布し、保育活動の様子や取り組みについての情報を伝えています。迎え時に口頭で子どもの様子を伝えるなど、保護者と園との共通理解に努めています。</p> <p>③虐待防止のマニュアルがあります。職員は虐待の定義や見分け方、義務などを理解して業務にあたっています。気になる子どもがいる場合は、マニュアルに従い、子どもの心身の状況や保護者の様子に気を配り、保護者と密にコミュニケーションをとりながら必要な支援を行っています。職員の言動や対応で気になる場合は、園長、リーダー保育士が個別に気づきを促し、振り返りの機会を設けています。</p>	
<b>評価項目</b>	<b>実施の可否</b>
① 日常の保育にあたっては、個人の意思を尊重している。	○
② 子どもを尊重したサービス提供について共通の理解を持つための取組を行っている。	○
③ 虐待の防止・早期発見のための取組を行っている。	○

評価分類 (2) 利用者のプライバシー保護を徹底している。		B
<p>①個人情報保護規定のガイドラインを就業規則に記載して、職員は入社時に研修を受け、誓約書に署名をしています。園の行事等の子どもの写真は、業者により、パスワード使用でネット上で閲覧も購入も出来ます。入園時に個人情報の取り扱いについて保護者に園の方針等を説明しています。年度末には、自園のホームページ掲載が予定されています。今後のホームページでの写真掲載なども含め、今後は保護者の同意書の確認が望まれます。</p> <p>②一人ひとりの「今」を理解し、その心身の状態を考慮した援助をしています。情報は、毎日の「受入れ票」や「業務日報」に記載し、全ての職員に周知しています。特別に配慮する情報は、特定の職員のみが取り扱うなど、プライバシー保護の管理を徹底しています。</p>		
評価項目		実施の可否
①	子どもや保護者に関する情報（事項）を外部とやりとりする必要がある場合には、利用者の同意を得るようにしている。	●
②	利用者の気持ちに配慮した支援を行っている。	○

## <サービス実施に関する項目>

<b>共通評価領域</b> <b>3 意向の尊重と自律生活への支援に向けたサービス提供</b>
<p>月齢により身体の発達も感情も目覚ましく発達する0歳児～2歳児の一人ひとりを受容し、生活リズムや体調を把握しながら援助ができる環境にしています。0歳児には、特定の保育士が関わり、保育士との信頼関係の下、安心して園生活が送れるように努めています。</p> <p>一人ひとりの個別指導計画を作成し、ねらい・養護教育・活動・食育・環境構成・保護者との連携など、全体的な評価・反省を記載し、個々の発達過程に沿ったきめ細やかな援助に繋げています。</p>
<p>フラットな保育室に0歳児～2歳児合同の保育を行っています。0歳児のコーナーには、可動式のパーテーションで仕切り、0歳児が安全に活動できる環境にしています。1歳児と2歳児は、同じペースで日常の保育、遊び、食事、午睡も一緒にしています。</p> <p>朝の挨拶時は、0歳児も加わります。近くには目的によって選択できる公園があり、合同で出掛ける機会を多く設けています。日常生活の中からそれぞれの発育によって受ける五感の刺激から、興味や関心につながる環境構成に力を入れています。</p>
<p>保護者からの要望や苦情には、園長・リーダー保育士が担当しています。保護者の意向を検討するため保護者代表や役所職員を交えた運営会議の開催や外部からの第三者委員を設置し、園運営に於いて改善すべき内容などを報告する体制を整えています。</p> <p>開園時から保護者からの苦情はなく、保護者は「子どもが保育所で大切にされている」と満足しています。</p>

<b>評価分類</b> <b>(1) 利用者の意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる。</b>	<b>A</b>
<p>①0歳児から2歳児までの19名が在園しています。一人ひとりの子どもの発育・発達を理解し、個人差を考慮したきめ細かい保育を行っています。職員は、子どもの心身の状態や家庭環境の情報を日報や月間個別指導計画書などで共有し、安全を第一に子どもを主体とした支援に努めています。</p> <p>②保護者参加の行事後には、必ずアンケートを行います。また、保護者の個別面談を年に1回行っていますが、相談の希望がある場合は、柔軟に対応しています。保護者の意見や要望などは職員会議で分析しています。保護者代表や役所職員を交えた運営会議の開催や外部者参加の第三者委員を設置し、サービス向上に向けて改善すべき体制を整えています。開園当初から保護者からの苦情はなく、保護者アンケートでは「子どもが保育所で大切にされているか」の回答には、満足度100%という高い評価を得ています。</p>	
<b>評価項目</b>	<b>実施の可否</b>
① 利用者満足の把握に向けた仕組みを整備している。	○
② 利用者満足の向上に向けた仕組みを整備し、サービス向上に取り組んでいる。	○

評価分類		A
(2) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
<p>①玄関に園内の意見要望の受付担当者、解決責任者、第三者委員2名の名前を掲示しています。また、運営委員会で保護者に園の対応を説明しています。職員は園児一人ひとりの情報を把握し、共有しているため、担任以外の職員でも要望があればいつでも対応することが出来ます。</p> <p>②意見要望の責任を明確にするために受付窓口をリーダー保育士、解決責任者を園長としています。他に第三者委員として他園の園長と藤沢法律事務所の弁護士の計2名を設置しています。問題に関して迅速、適切に対応するために園の仕組みを明確にし、玄関に掲示しています。また、入園時に文書化した資料を配布しています。</p> <p>③苦情処理要綱があります。解決への手続き・周知方法・第三者への相談を希望する場合の対応などを文書化しています。意見・要望・苦情があった場合は、誠意をもって迅速に対応し、時間のかかる場合はその理由・経過なども説明し、納得が得られる対応に努めています。</p>		
評価項目		実施の可否
①	子どもや保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	○
②	苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	○
③	子どもや保護者からの意見等に対して迅速に対応している。	○

評価分類		A
(3) 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた援助を行っている。		
<p>①身体の発達も感情も目覚ましく発達する0歳児～2歳児の一人ひとりを受容し、生活リズムや体調を把握しながら保育が出来る環境を整えています。0歳児には、特定の保育士が関わり、保育士との信頼関係の下で安心して園生活が送れるように努めています。一人ひとりの個別指導計画を作成し、ねらい・養護教育・活動・食育・環境構成・保護者との連携など、個々の発達過程に沿ったきめ細やかな援助に繋げています。</p> <p>②広い1ルームスペースに可動式のパーテーションで仕切ったコーナーに0歳児が安全に活動できる環境を整えています。1歳児と2歳児は、日常の保育、遊び、食事、午睡一緒に行い、朝の挨拶時は、0歳児も加わります。目的によって選択できる公園が近くにあり、一緒に出掛ける機会を設け、年齢を超えて遊べる活動を取り入れています。</p> <p>③発達年齢に合わせた安全で衛生的なおもちゃや絵本を取り揃えています。子どもの興味や関心から何で遊ぶか子どもたちが選び、満足のいくまで楽しめる環境を整えています。</p> <p>④現在まで配慮の必要な園児はいませんが、発達障害など外部研修を受けています。</p>		
評価項目		実施の可否
①	子ども一人ひとりを受容し、その発達の過程や生活環境などの理解を深めて働きかけや援助が行われている。	○
②	様々な人間関係や友達との協同的な体験ができ、生活が豊かになるような環境が整備されている。	○
③	子どもが主体的に活動し、自分を表現し、他者の表現を受け入れる力が育つように支援している。	○
④	特別の配慮が必要な子ども（障害のある子どもを含む）の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるように援助している。	○

## <サービス実施に関する項目>

<b>共通評価領域</b> <b>4 サービスの適切な実施</b>
<p>園は子育てのパートナーとして家庭と保育園の役割分担の連携だと認識しています。お迎え時には、一人ひとりの一日の活動内容や気になること、そして頑張っていたことなどエピソードを交えて具体的に保護者に伝えています。園での子どもの様子は、どんなに小さなことでもできるだけ保護者に伝え、子どもの1日の様子が把握できるよう努めています。</p>
<p>離乳食を始めた子ども、まだしっかり咀嚼が出来ない子ども、しっかり普通食を食べる子どもなど、一人ひとりの発達段階に合わせた食事形態や味付けにしています。体調不良の子どもには、個々の体調に合わせた献立にするなど、柔軟に対応しています。</p>
<p>日常の保育の中で子どもたちに「何が危ないのか」「どうして危ないのか」をそれぞれに分かりやすく、身振りや、絵本、紙芝居などで伝えています。基本的な手の洗い方、歯ブラシや食器の使い方など基本的な生活習慣についても、発達に応じて伝えています。</p>

<b>評価分類</b> <b>(1) 家庭と保育所の生活の連続性を意識して保育を行っている。</b>	<b>A</b>
<p>①登園時には、保護者と一緒に連絡帳を見ながら家庭での様子や体調を確認しています。職員は子どもの「受け入れ票」に情報を記入し、確認した内容で1日の保育活動に反映しています。一人ひとりの発育や状況に合わせて、食事・着替え・トイレトレーニング・歯磨きなどの基本的な生活習慣を身に付ける工夫や運動機能を高める援助を行っています。子どものその日の状態や発達年齢に応じて休息の長さや時間帯に配慮しています。週末の疲れなどが見えるときは、負担のかからない散歩や室内遊びでゆっくり過ごす保育にしています。</p> <p>②お迎え時には、一人ひとりの一日の活動内容や気になること、そして頑張っていたことなどエピソードを交えて具体的に保護者に伝えています。園は子育てのパートナーとして家庭と保育園の役割分担の連携だと認識し、園での子どもの様子は、どんなに小さなことでも保護者に伝え、子どもの1日の様子が把握できるよう努めています。</p> <p>③毎日の連絡帳や送迎時のやり取りから保護者の気になることや意見などを聞き、職員間でその子どもの的確な保育援助を話し合い、保育活動に反映しています。</p>	
<b>評価項目</b>	<b>実施の可否</b>
① 登園時に家庭での子どもの様子を保護者に確認している。	○
② 子どもが基本的な生活習慣を身につけ、積極的に身体的な活動ができるよう支援を行っている。	○
③ 休息（昼寝も含む）の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している。	○
④ お迎え時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている。	○
⑤ 保育所の保育に関して、保護者の考え方や提案を聴く機会を設けている。	○



評価分類 (2) 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている。		A
<p>①早い登園や遅い降園の子どもには、その日の子どもの様子から遊びを工夫し、園で長く過ごすことへの負担軽減に努めています。家庭的な雰囲気の中で落ち着いて安全に過ごせるよう配慮し支援しています。</p> <p>②日常において登園後と降園時には、合同の保育を行っています。身体能力の差に開きがあるため、安全の確保を第一に考えながら、年齢を超えた遊びや行動でそれぞれが刺激を受けながら楽しく遊べる工夫をしています。</p>		
評価項目		実施の可否
①	保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている。	○
②	年齢の違う子どもとも楽しく遊べるような配慮をしている。	○

評価分類 (3) 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している。		A
<p>①食べることを強制したり、偏食を叱ったりすることもなく、子どもが食べたいと思うような声掛けをしながら進めています。子どものペースに合わせて手づかみやフォーク、スプーンで意欲的に食べる気持ちを大切にしています。食事中に寝てしまう子どもには、座る場所や気分を替える工夫をして、おいしく食べたという気持ちを味わえるようにメリハリもつけています。</p> <p>②離乳食を始めた子ども、まだしっかり咀嚼が出来ない子ども、しっかり普通食を食べる子どもなど、それぞれの発達段階に合わせた食事形態や味付けにしています。体調不良の子どもには、個々の体調に合わせた献立に柔軟に変更しています。</p> <p>③アレルギー食提供には、医師が作成する「アレルギー疾患生活管理指導致案」により、除去食としています。子どもの名前、写真、アレルギー食材の表示、専用のトレイと食器で提供し誤食防止に努めています。離乳食の献立、月のメニュー、管理栄養士作成のマシュマロキッチン、マシュマロレシピを毎月配布し、食に関する考え方を伝えています。園庭では、夏野菜を子どもたちと一緒に育てます。</p>		
評価項目		実施の可否
①	子どもが楽しく、落ち着いて食事を取れるような雰囲気作りに配慮している。	○
②	メニューや味付けなどに工夫をしている。	○
③	子どもの体調や文化の違いに応じた食事（アレルギー対応を含む）を提供している。	○
④	保育所の食事に関する取組を保護者に対して伝える活動をしている。	○

評価分類		A
(4) 子どもが心身の健康を維持できるよう支援を行っている。		
<p>①日常の保育の中で子どもたちに「何が危ないのか」「どうして危ないのか」をそれぞれに分かりやすく、身振りや、絵本、紙芝居などで伝えています。基本的な手の洗い方、歯ブラシや食器の使い方など、基本的な生活習慣も発達に応じて伝えています。</p> <p>②内科健診は年4回、歯科健診は年2回、身体測定は毎月行います。結果は保護者に知らせますが、特別に配慮が必要な場合は、職員会議や業務日報で職員に周知し、それぞれの保育に反映させています。</p> <p>③感染症や乳児突然死症候群などの情報は、入園前の面談時や園だよりなどで提供しています。感染症の発症や疑いのある場合は、登園停止基準の種類・症状・潜伏期間・注意点など記載された提出書類なども保護者に提供しています。感染症が発症しやすい時期には、園だよりや掲示板で注意を促し、子どもたちには、うがいや手洗いの大切さを伝えています。</p>		
評価項目		実施の可否
①	けがや病気を防止するため、日頃から身の回りの危険について子どもに伝えている。	○
②	健康診断・歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それぞれの保育に反映させている。	○
③	保護者に対して感染症や乳児突然死症候群（SIDS）等に関する情報を提供し、予防に努めている。	○

## <組織マネジメントに関する項目>

<b>共通評価領域</b> <b>5 運営上の透明性の確保と継続性</b>
<p>保育業務の提供にあたっての基本規定としての「保育課程」が説明されますが、理念・基本方針・保育目標が大前提となっていることが説明されています。</p> <p>この保育課程の下で、具体的な指導計画が制定されており、理念・基本方針・保育目標の理解は深められています。</p>
<p>小規模認可保育園であることもあり、法人本部との連携を大切にした運営を行っています。このため、園長・リーダー保育士も含めた職員全員参画の詳細な「事務分担表」を策定しています。事務分担表に、人事・経理、シフト管理、衛生管理の他、行事・避難訓練担当、事故防止・安全衛生担当、誕生会担当などについて、実施月別に年間計画を明示して責任をもって対応する体制となっています。</p>
<p>保育室は全体が見渡せ、かつリーダーも自ら保育に入ることで、職員との一体感が生まれています。常に管理者と職員が業務を通じて直接日常会話を行っている環境にあり、業務の質の向上に向けて指導・支援が実現しています。経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みも、きめ細かな取り組みが進んでいます。</p>

<b>評価分類</b> <b>(1) 事業所が目指していること（理念・基本方針）を明確化・周知している。</b>	<b>A</b>
<p>①理念・基本方針・保育目標については、園のパフレット、入園ガイドなどに記載し園内にも掲示しています。職員に対しては入所時の研修で、理念・基本方針・保育目標は、基本事項として説明しています。</p> <p>②保育業務の提供にあたっての基本規定としての「保育課程」が説明されますが、理念・基本方針・保育目標が大前提となって、制定されていることが説明されています。この保育課程の下で、具体的な指導計画が制定されており、理念・基本方針・保育目標の理解は深められています。</p> <p>③保護者には、入園時には、入園ガイドを中心に置いて、理念・基本方針・保育目標を説明しています。また、打ち合わせ時など機会あるごとに、実際の保育に結びつけて説明し浸透を図っています。特に、小規模の保育園として、子どもたち一人ひとりに合わせた保育サービスが実行されていることが理解されています。</p>	
<b>評価項目</b>	<b>実施の可否</b>
① 理念・基本方針を明示している。	○
② 理念・基本方針について、職員の理解が深まるような取組を行っている。	○
③ 理念・基本方針について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取組を行っている。	○



評価分類 (2) 実践的な課題・計画策定に取り組んでいる。		A
<p>①当園は小規模保育園として開園後、2年半を迎えた保育園です。園独自の中・長期計画は、現段階では未策定ですが、理念・基本方針の実現に向けた中・長期計画は、法人が策定しています。法人が策定している中・長期計画がありますが、これを基本に据えた園として平成30年度の事業計画が策定され、職員をはじめとして関係者に配布されています。</p> <p>②事業計画は、法人取締役、マシュマロ保育園園長、リーダー、クラス担当で年度末に実施状況の確認（事業報告の策定）を行い、改善点を反映した次年度の事業計画を策定しています。</p> <p>③職員には、年度末職員会議で、事業報告、事業計画を配布しています。特に、新年度計画については実施に向けての討議を行い、分担も含めて周知しています。年度始の保護者懇談会には事業計画を詳細に説明しています。保護者参加が原則の行事について、協力を要請しています。</p>		
評価項目		実施の可否
①	理念・基本方針の実現に向けた中・長期計画が策定されている。	○
②	中・長期計画を踏まえた年度単位の事業計画が策定されている。	○
③	事業計画の策定が組織的に行われている。	○
④	事業計画が職員に周知されている。	○
⑤	事業計画が保護者等に周知されている。	○

評価分類 (3) 管理者は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている。		A
<p>①園は、開設2年半の新しい園であり、かつ小規模認可保育園であることを前提にして法人本部との連携を大切にしている運営を行っています。このため、園長・リーダー職員も含めた職員全員参画の詳細な「事務分担表」を策定しています。事務分担表には、人事・経理関係業務、シフト管理、衛生管理業務の他、行事担当・避難訓練担当、事故防止・安全衛生担当、誕生会担当など年間計画を実施月別に明示して、各自が責任をもって対応する体制にしています。</p> <p>②保育室もほぼ全体が見渡せる規模にあり、リーダーも自ら保育に入ることによって、職員との一体感が生まれ、職員の連携がより緊密になり、業務の質の向上に向けて、タイムリーな指導・支援が実現しています。</p> <p>③人事システムとして職員との個人面談が行われていますが、全クラスが見渡せる保育室では、常に管理者と職員が、業務を通じて、直接日常会話を行っている環境にあり、職員の一体感が生まれ、経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みについてもきめ細かな取り組みが進んでいます。</p>		
評価項目		実施の可否
①	管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	○
②	質の向上に意欲を持ちその取組に指導力を発揮している。	○
③	経営や業務の効率化と改善に向けた取組に指導力を発揮している。	○

評価分類 (4) 質の向上に向けた取組が組織的に行われている。		A
<p>①毎年1回、法人として、各園の職員による自己評価を実施しています。本年は、福祉サービス第三者評価の職員による自己評価を実施しました。自己評価結果については、法人本部取締役、園長、リーダー、各クラス担当で検討し改善に向けて具体的な取り組みを行って、成果を上げています。</p> <p>②評価結果については、質の向上に向けた取り組みは、職員間で改善策を話し合いを行い、年間指導計画に反映して取り組みを行っています。</p>		
評価項目		実施の可否
①	サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	○
②	評価結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実施している。	○

評価分類 (5) 経営環境の変化等に適切に対応している。		A
<p>①藤沢市小規模保育園情報交換会が定期的開催され、必ず出席し社会福祉事業の動向事業経営を取り巻く環境の変化を把握しています。園としては、法人本部に報告をして、対応を検討しています。また、公立藤沢保育園から、2か月に1回、巡回をいただき保育園運営について、具体的なかつ貴重な指導を頂いています。法人として藤沢商工会議所に加盟し、園長も参加しています。会員各社からの情報は、保育園と直接の接点は限られていますが、経営環境の把握の上で有意義な情報を頂いています。</p> <p>②小規模認可保育園の当園は、生後57日から2歳児までが対象園児です。その後は、転園が前提であり、当然ながら保護者にとっても重要な課題です。このため藤沢市東南地区の保育園（24か所）と3歳児の受け入れに関する連携協定を締結いただいています。経営状況の分析は、法人本部が確実にデータを集め分析し課題解決に向けた取り組みを行っています。</p>		
評価項目		実施の可否
①	事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	○
②	経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取組を行っている。	○

## <組織マネジメントに関する項目>

共通評価領域 6 地域との交流・連携
<p>法人として藤沢商工会議所での地元企業との交流に積極的に参加しています。大通りから園への導入路入り口に園情報を掲示しています。現在は、園が有する専門知識を生かした、子育て相談のPRを行っています。</p> <p>藤沢市商工会議所の活動を通じて、「地産地消の実践」が実現しています。園児の食事に地元産の野菜等を入手、地元の「祭りの実行委員会」に参加するなどが実現しています。</p>
<p>法人として藤沢市商工会議所では、法人本部取締役、園長等が、地域貢献事業に参加をすることで、福祉ニーズにつながる情報も把握しています。また、小規模認可保育園として、藤沢市東南地区保育園と連携して3歳児の転園受け入れの協定締結ができました。</p> <p>子どもを受け入れていただく保育園には、「転園連絡票」を個人別に作成し受け入れ保育園にこれまでの情報を伝え、子どもたちが不安を感じないような取り組みを行っています。</p>

評価分類 (1) 地域との関係が適切に確保されている。	A
<p>①法人として藤沢商工会議所での地元企業との交流に園長が積極的に参加しています。大通りから園への導入路入り口に園情報を掲示しています。現在は、園が有する専門知識を活かした、子育て相談のPRを行っています。ホームページは本年中に稼働する見込みです。</p> <p>②藤沢市商工会議所の活動を通じて、大きな意味で「地産地消の実践」が実現しています。園児の食事に地元産の野菜等を入手、地元の「祭りの実行委員会」に参加するなどが実現しています。園児学童者には、子育て相談を随時行っていることをチラシも配布しています。これまでも相談を受けた事例があります。園入り口の掲示を、さらに充実する対策の検討を行っています。</p> <p>③ボランティアの受け入れには、マニュアルも作成され、法人内の他の保育園と同様の受け入れ体制ができています。</p>	
評価項目	実施の可否
① 地域社会に対して、開かれた組織となるよう、事業所に関する情報を開示している。	○
② 事業者が有する機能を地域に提供している。	○
③ ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	○

評価分類		A
(2) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
<p>①法人として藤沢商工会議所での地元企業との交流に園長が積極的に参加しています。大通りから園への導入路入り口に園情報を掲示しています。現在は、園が有する専門知識を生かした、子育て相談のPRを行っています。ホームページは本年中に稼働する見込みです。</p> <p>②「地産地消の実践」が実現しています。園児の食事に地元産の野菜等を入手、地元の「祭りの実行委員会」に参加するなどを実現しています。園見学者には、子育て相談を随時行っていることをチラシも配布しています。園入り口の掲示を、充実する対策の検討を行っています。さらに園が持っている保育の専門知識を地域に提供することが期待されます。</p> <p>③藤沢市小規模保育園情報交換会が定期的に行われ、園長が参加し情報交換を行っています。小規模園が抱える課題や地域動向等に対しての話し合いが行われ、連携した検討を行っています。</p> <p>④ボランティアの受け入れには、マニュアルも作成され、法人内の他の保育園と同様の受け入れ体制ができています。</p>		
評価項目		実施の可否
①	関係機関・団体との定期的な連絡会等に参画している。	○
②	地域の関係機関・団体の共通の課題に対して、解決に向けて協働して具体的な取組を行っている。	○
③	地域の福祉ニーズを把握するため事業・活動に参加している。	○

## ＜組織マネジメントに関する項目＞

<b>共通評価領域</b> <b>7 職員の資質の向上の促進</b>
<p>職員には半年ごとに自己評価書の提出を求め、管理者が面談を行い職員の人事考課を行います。職員のキャリアアップを目標にして、職員からの受講希望も含めて、各職員の経験年数や過去の個人別受講状況を勘案して、年間の研修計画が策定されています。</p> <p>この計画に記載された研修は、全て勤務時間内の受講とし、かつ研修費用も法人が負担しています。研修は、非常勤職員も受講も承認されています。</p>
<p>管理者は、職員勤務表（シフト表）作成時には、各職員の有給の消化や時間外労働のデータをチェックして、職員間のバランスにも配慮しています。</p> <p>小規模の保育園であり、勤務者人数も少数ではありますが有給消化率も高いレベルで、安定した勤務状況にあります。</p>

<b>評価分類</b> <b>（1）事業者が目指しているサービスを実現するための人材構成となるよう取り組んでいる。</b>	A
<p>①必要な人材や人員体制は、保育定数が配置されています。3クラス19名が定員の小規模認可保育園ですが、園長1名・保育士10名・栄養士1名が配置されています。看護師は配置されていませんが、法人本部と法人内保育園も藤沢市内にあり、応援体制も確立しています。</p> <p>②採用業務は法人本部が行っています。採用した職員に対しては、法人本部が研修を行い、人事・給与・就業規則などは、研修で説明されています。遵守すべき法令・規範・倫理等は、入職時の研修で就業規則などを中心に置いて、具体的な説明を行っています。職員には半年ごとに自己評価書の提出を求め、管理者が面談を行い職員の人事考課を行います。この結果を基に能力評価を行い、昇給と決算賞与に反映しています。</p> <p>③実習生の受け入れは、法人本部が中心で募集を行っています。実習生受け入れのためのマニュアルも作成され、園として法人内の他の保育園と同様の受け入れ体制ができています。</p>	
	<b>実施の可否</b>
① 必要な人材や人員体制に関する具体的な考え方が確立している。	○
② 具体的なプランに基づく人材の確保に取り組んでいる。	○
③ 遵守すべき法令・規範・倫理等を正しく理解するための取組を行っている。	○
④ 職員の育成・評価・報酬（賃金、昇進・昇格など）が連動した人材マネジメントを行っている。	○
⑤ 実習生の受入れと育成が積極的に行われている。	○

評価分類 (2) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		A
<p>①職員のキャリアアップを目標にして、職員からの受講希望も含めて、各職員の経験年数や過去の個人別受講状況を勘案して、年間の研修計画を策定しています。この計画に記載された研修は、全て勤務時間内の受講とし、かつ研修費用も法人が負担しています。この研修は、非常勤職員の受講も承認されています。</p> <p>②受講対象の外部研修は、主として、神奈川県福祉子ども未来局、藤沢市子ども家庭課、横浜女子短期大学、日本保育協会が開催する研修会の中から、法人として有効な研修を選択しています。</p> <p>③研修を受講した職員は、報告レポートを作成提出しています。職員会議でもできるだけ研修状況を報告するように工夫しています。</p>		
評価項目		実施の可否
①	職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	○
②	個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取組が行われている。	○
③	定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	○

評価分類 (3) 職員の就業状況に配慮がなされている。		A
<p>①管理者は、職員勤務表（シフト表）作成時には、各職員の有給の消化や時間外労働データをチェックして、職員間のバランスにも配慮しています。小規模の保育園でもあり、勤務者人数も少数ではありますが有給消化率も高いレベルで、安定した勤務状況にあります。</p> <p>②職員の健康保持を重要項目として、健康診断の受診時には職員各自が希望する受診項目の追加も行っています。現在、法人本部として、福利厚生施設の契約実現に向けて検討中です。</p>		
評価項目		実施の可否
①	職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	○
②	職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	○



## 認可保育所 利用者調査項目（アンケート）

- アンケート送付数（対象者数）（ 19 ）人
- 回収率 94.7%（ 18 ）人

## サービスの提供

利用者調査項目		はい	いいえ	どちらとも いえない	無回答
1	子どもが生活する保育室は、落ち着いて過ごせる雰囲気を整えられていますか	88.9%	0.0%	11.1%	0.0%
		16 人	0 人	2 人	0 人
2	保育中の発熱や体調不良、けがなどの対応、保護者への連絡は適切ですか	83.3%	0.0%	16.7%	0.0%
		15 人	0 人	3 人	0 人
3	食事・おやつなどのメニューは、子供の状態に配慮された工夫がありますか	88.9%	0.0%	11.1%	0.0%
		16 人	0 人	2 人	0 人
4	日々の保育の様子が情報提供されており、保育について職員と話すことができますか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		18 人	0 人	0 人	0 人
5	季節や自然、近隣とのかかわりが保育の中に感じられますか	83.3%	0.0%	16.7%	0.0%
		15 人	0 人	3 人	0 人
6	各種安全対策に取り組まれていますか	88.9%	0.0%	11.1%	0.0%
		16 人	0 人	2 人	0 人

## 利用者個人の尊重

7	お子さんは保育所で大切にされていると思いますか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		18 人	0 人	0 人	0 人
8	職員はあなたやあなたの子どものプライバシー（秘密）を守っていますか	83.3%	0.0%	16.7%	0.0%
		15 人	0 人	3 人	0 人

## 相談・苦情への対応

9	園に相談したり、意見を言いやすい雰囲気ですか	77.8%	0.0%	22.2%	0.0%
		14 人	0 人	4 人	0 人
10	要望や不満があったとき、第三者医院(保育所外の苦情解決相談員)などに相談できることを知っていますか	77.8%	0.0%	22.2%	0.0%
		14 人	0 人	4 人	0 人
11	園は要望や不満などにきちんと対応していますか	77.8%	0.0%	22.2%	0.0%
		14 人	0 人	4 人	0 人

## 周辺地域との関係

12	周辺地域、関係機関との関係は良好だと思いますか	77.8%	0.0%	22.2%	0.0%
		14 人	0 人	4 人	0 人

## 利用前の対応

13	【過去1年以内に利用を開始され、利用前に説明を受けた方に】サービス内容や利用方法の説明はわかりやすかったですか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		11 人	0 人	0 人	0 人



株式会社フィールズ

〒251-0024 藤沢市鵜沼橋1-2-7 藤沢トーセイビル3F

TEL : 0466-29-9430 FAX : 0466-29-2323